学校だより
ときわ
宇部市立常盤小学校
第　６　号
２０１５．９．２５発行

『天』の『気もち』と『泣き笑い』

校長　海　頭　　巌

常盤小学校秋季大運動会が無事に終わり、スローガン『燃えあがれ常小パワーは無限大』をしっかり達成できました。これも保護者の方々や地域の皆様のご支援・ご協力の賜物だと感謝申し上げます。

当日は絶好の運動会日和。子どもたちの晴れてほしいという願いが、お天道様に伝わったのか、それとも子どもたちの日頃の行いの良さのご褒美としてお天道様が晴れをくださったのかわかりませんが、『天』の『気もち』を確かに受け取りました。

実は、運動会当日の天気が気になって、下関気象台に連絡してみました。その際に、日頃から疑問に思っていた「雨が降る日は一年間に何日ぐらいあるのだろうか？」を尋ねてみたところ、その調べ方を教えていただきました。そこで、『山口県気象月報』で調べてみると、下関市の『天気概況、昼（６：００～１８：００）』が載っていたので、昨年の９月～今年の８月までの一年間に雨（含む雪）の文字が記録されているものをピックアップしてみました。すると、１４６日も記録されていたのです。「意外と多いんだなあ」と思いました。この日数は、ほんのわずかな雨（１㎜ 以下）でも、雨と記録されているので、実際雨が降っていると感じた日はもうすこし少ない日数だと思います。この一年間が例年に比べて特別なのかどうかは分かりませんが、言い換えると２１９日は雨が全く降らなかったことになります。雨が降った日は４０％弱。雨が全く降らなかった日は６０％強ということになります。雨の日よりもそうでない日の方が多い。それが『天』の『気もち』なのかもしれません。そう言えば、『天』の『気もち』＝『天気』と何かの本に書いてありました。

さて、こんな話をご存知ですか。

「人は悲しい時、何と泣きますか？」　「シクシク：四九四九です。」
「４×９（シク）は？　３６ですね。」
では、人は楽しい時には、どう笑いますか？　「ハハハ：八八です。」
「８×８（八八）は？　６４ですね。」
「二つの数字を足したらいくつになりますか？」　「１００です。」
つまり人生は泣くことが３６％、笑うほど楽しいことが６４％なんです。
泣くときもある。でも、人生は楽しいことの方が多く起こるようにできているんですよ。

面白くもあり、何となく深い話ですね。

不思議と『天』の『気もち』の数値に近いと思いませんか。『天』の『気もち』と同様に、私たちの人生も、泣く日もあるけれど、泣いてばかりの日々はない。笑う日の方が多いんだということを心に留めておきましょう。